

令和6年度 粟ノ保小学校だより

令和6年11月1日 NO.13



# ひまわり

羽咋市立粟ノ保小学校  
校長 田中 利弘

スローガン【すべては 子どもたちの 輝く未来のために】

## ◇復興トンボ◇ 10/22(火)

宮城県の竹細工彫刻家の方から「復興トンボ」の寄付がありました。元旦の能登半島地震を受けて、能登の復興を願って制作をしていただきました。青は海。台は能登半島をイメージ。そしてトンボ。

昔からトンボは縁起物です。前に向かって進む。バックはしない。害虫を食べる益虫です。「思いやりの心」「やさしい心」を育ててほしいという作者の願いです。校長室前に置きました。バランストーンですので遊べます。休み時間に自由に楽しんでほしいです。

トンボが下に落ちていたら、元の場所にのせてあげてください。



## ◇トップスポーツチームとのスポーツ教室◇ 10/21(月)

バスケットB3リーグ：金沢サムライズ（武士団）から4人（選手2、コーチ、マネージャー）が来校しました。5・6年生に「職業講話」、4・5・6年生に「スポーツ教室」をしていただきました。

県教委主催の行事です。



まず、紹介の後一人一人から「プロの選手を目指したこと、普段大切にされていること・心がけていること、練習時間や練習で苦しいことはありますか」といったお話を伺いました。練習で苦しいことはあっても、気持ちの持ち方で成長につながると思えば、喜びうれしさになると回答されました。プロとして、食事を大事にしたり、身体のケアを行ったりしている様子をお聞きして意識の高さを感じました。その後、体育館に移動してバスケット教室をしました。子どもとの対戦試合も盛り上がりました。



# ◇ 11月全校集会：校長の話 ◇ 11/1(月)

11月に入りました。2学期も折り返し後半を迎えました。教育ウィークの週ですが11/1(金)はマラソン大会、地域ゲストを招いた授業参観、5・6年生の音楽会プレ発表とよい取組を保護者に見ていただきました。どうもありがとうございました。

さて、今月の校長の話は「自分の限界を少し超えてみる」についてです。

## 自分の限界を少し 超えてみる



メジャー通算19年

打率	ホームラン	盗塁	三振
.311 通算	117 通算	509 通算	1080 通算
.372 最高	15 最高	56 最高	86 最高

メジャー通算7年

打率	ホームラン	盗塁	三振
.282 通算	225 通算	145 通算	917 通算
.310 最高	54 最高	59 最高	162 最高

例えば、元メジャーのイチロー選手、そして今まさに大活躍の大谷翔平選手の成績を紹介しました。2人ともメジャーでの通算が違いますが、今までの通算成績、最高の成績を示しました。パッと見た目、今年の大谷選手が50-50(ホームラン&盗塁ともに50)を達成しているので、「すごい」と思いますね。子ども達もそんな反応でした。

しかし、イチロー選手の打率や三振の数は目を見張る成績です。すごさを比べることはできませんが。今回は、「イチロー選手」が野球教室で小学生に話した内容です。

①



0.99

②



全力を!

③



①



②



全力を!

③



1.01

わずか0.01  
の差が...

① 歩く ②全力で走る ③さらに力をふりしぼり全速力で走る ②の全力ではしるを「1」とします。少しだけゆっくり歩く(0.99とします)。①はとても楽ですね。逆に、全力よりも、もう少しだけ頑張る走る(1.01とします)③は、とても大変です。ほんの少し楽をするか、ほんの少し限界を超えるか、そのほんの少しの差が、大きな成長につながるということです。

0.99×0.99×0.99...

1.01×1.01×1.01...

このほんの少しの差が成長するかしないかの分かれ目

積み重ねる

0.99×0.99...を何回も繰り返すのか、1.01×1.01...を何回も繰り返すのか。後者の方が何回も繰り返すともものすごく大きな数になります。

わずか0.01の差が、このほんの少しの差が、成長するかしないかを分ける大きな境目になります。人の2倍、3倍頑張るのは無理ですが、自分の限界に挑めるか挑めないか、この差が大きな違いになってくるのです。思い出すと私の中学の恩師の言葉に「へばってからもうひと頑張りせよ」があります。この話に通じるところがあります。

イチロー選手の話の中で「積み重ねる」という言葉が、最も重要です。「自分の限界を少し超えてみる」ことを、毎日の習慣のようにして、日々自分の限界に挑んでいくことの大切さです。ご家庭でもぜひ子どもと会話をしてみて下さい。